

2022 松阪地区 第1回 MTK 実施報告書

2022.12.10 (土) 17:00~20:00

松阪市総合運動公園会議室・多目的グラウンド

参加者数 16名

第1回松阪地区 MTK は、三重県サッカー協会 FA コーチ樋口士郎氏を講師としてお招きし、『攻撃のプレーの原則』についての講義と、松阪 Jr.トレセン U12 選手に対して『観て判断して関わる』をテーマに指導実践をして頂いた。以下に、各内容の報告を致します。

講義：攻撃のプレーの原則

攻撃の目的、その目的を達成させるためのプレーの原則について学んだ。主に映像を流しながらの講義であったので、より理解しやすい内容であった。また、直近の W 杯についての話もあり、とても興味深い内容であった。



W-up①:対面でのパス&コントロール

4箇所に分かれてのパス&コントロール。ボールの移動中に観ること、次のプレーに繋げるためにどのように関わるかをコーチングして頂いた。その直後から、多い選手で2回「チラ見」して、次の状況を確認することができるようになった。



W-up②: 6人組によるパス&コントロール

ボールホルダーを中心に円を作り、円をキープした状態でパスを繋ごうとすると、ボールを持ってない選手は、その場で立ったままだった。試合中のことを想像し、ボール状況が変わるごとにサポートを変えるようにコーチングがあった後、常に関わり続けようとする姿に変化した。



TR1: 5 vs 5 (ラインゴール)

ラインゴールを目指す上で、ボール保持者はまずは何を観るのか、そして周りの選手はどういうサポートするのか、どうやって幅と深さをとるのかをコーチングされた後、連続性がある素晴らしいプレーが数多く出ていた。

TR2: 5 vs 5 + 2 GK

TR1 にゴールが追加されることによって、目指すべき優先順位を整理していった。ゴール前であるにも関わらずシュートを狙わない選手が多かったが、改善のコーチングが入った後は、積極的にシュートを狙う姿勢が見られ、よりサッカーのゲームに近づいていった。